

「遺伝子診療部の現状把握と今後の在り方についての検討」に関する研究

1. 研究の対象

2021年4月から学校長承認日までの間、当院で遺伝子診療とそれに連携する科で診療した患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法・期間

- ・2021年4月に当院に遺伝子診療部が発足しました。
- ・近年、医療において臨床遺伝学は重要な分野で、そこから得られた情報をもとに、診断、治療、予防などの医療に活かしています。21世紀に入り、ゲノム医学が急速な進歩を遂げ、ゲノム医療が日常の診療で行われるようになってきています。
- ・多くの病気に遺伝子や遺伝的素因が深くかかわっています。病気の診断をするとき、原因を調べる時、治療法を決めるときなど、日常の検査に遺伝子に関わる検査も多く含まれます。検査をすると、自分が必要とっていないことまでわかったり、家族や親戚に関わる情報がわかったりすることもあります。病気の担当科の医師以外の科も関わる診療が必要になることもあります。患者さんのニーズにあわせて対応する必要があり、精神的なサポートなど看護や遺伝カウンセリングも重要となります。遺伝子診療部は、患者さんが直診療を受けている科と一緒に、遺伝子検査やカウンセリングなどについて対応する部署です。直接患者さんとお会いせず、担当科の先生と検査について相談することもあります。
- ・当院の遺伝医療の現状を把握して、患者さんとその御家族の状況に応じた適切な対応ができるように、多科多職種との連携を有機的におこない、現状を把握して、今後の在り方について検討していきます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、病歴、家族歴、遺伝子検査、治療歴、カウンセリング、治療などの効果等

4. 研究に用いる情報の管理者

個人情報管理者 産科婦人科学講座 准教授 笹 秀典

情報の利用については、研究用のID番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工したもの（仮名加工情報といいます）を作成します。作成時の情報については

資料 3

笹 秀典が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方（患者さんが未成年者の場合は親権者又は未成年後見人）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

本研究の研究責任者：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座 講師

防衛医科大学校病院 遺伝子診療部 部長 鈴木 理絵

住所 〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

TEL：04-2995-1211（代表） 産婦人科外来受付